

# 防災対策についての 具体的施策は



小林 一幸



町長

## 総合防災マップを作成

**質問** 町内の防災対策についての  
具体的施策は何か。

**答弁** 町長 現在、災害時の備  
えや避難情報、要配慮者  
施設、町内の浸水図マップなど  
を掲載した総合防災マップを作  
成している。2万部を作成し、  
4月から町内各世帯へ每户配布  
する。

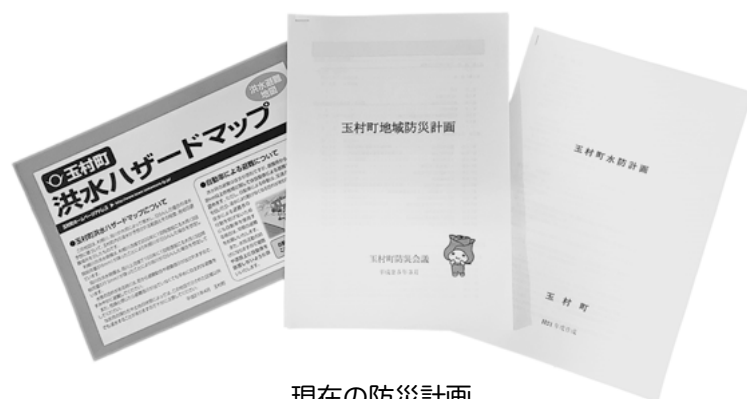
今後の取り組みは自主防災組  
織への出前講座や消防署と連携  
し、避難訓練や消火訓練、救急  
救命訓練などを行い、地域防災  
力の向上に努めたい。

**質問** 町内各区の防災対策への  
町の支援と今後の支援予  
定はどうか。

**答弁** 町長 自主防災組織に必  
要な防災備品を今年度は  
10地区に配備した。

また、宝くじコミュニティ  
助成事業が交付決定となったた  
め、200万円の助成金で2地  
区に防災倉庫や防災備品を整備  
した。

町は、避難所の適切な運営に



現在の防災計画

り組みが始まった。町は、災害  
時に迅速かつ適切な医療活動を  
実施するため、伊勢崎地域も含  
めて医療・消防・行政などの関  
係機関の連携体制強化を今後も  
図っていく。

**質問** 町内の公共施設や、各地  
区の公民館などへのA  
E D装置の設置状況と活用・訓練  
状況はどうか。

**答弁** 町長 現在34カ所の公共  
施設に設置しているが、  
各地区の公民館の設置状況につ  
いては、把握していない。地域  
の公民館はますます重要な拠点  
となるため、設置状況を把握し  
ていく。

こんな質問もしています

・平成30年度施設方針について  
・子育て支援対策について

**質問** 町は、災害発生時の病院  
や医療機関、福祉施設な  
どと事業所間連携できているの  
か。

**答弁** 町長 群馬県を中心に地  
域ごとに災害発生時の取

## 生涯活躍のまちの事業 計画案の実現に向けて

**質問** 生涯活躍のまちの事業計  
画案を実現していくため  
には、ボランティアが大きな力  
を握っていると思う。この37  
事業案をどのようにコーディネート  
していくのか。

**答弁** 町長 企業・商工会・金  
融機関・NPO法人・協  
議体などさまざまな団体と協議  
を行う場を設け、話し合い、玉  
村町に合ったものを検討してい  
く。

**質問** 県立女子大の学生は町の  
大きな財産だと思う。学  
生に新規事業の計画段階から携  
わってもらい、SNSなどを駆  
使して情報発信してもらおうの  
はどうか。

**答弁** 町長 学生の意見を聞き  
ながら協議していく。  
**質問** 地域おこし協力隊はどの  
ような仕事をしていくの  
か。

**答弁** 経営企画課長 まずは企  
画課に所属し、まちの魅  
力を情報発信してもらう。その  
中で町の魅力探しや、魅力づく  
りにも携わってもらう。ゆくゆ  
くは生涯活躍のまち事業のコ  
ーディネートにも絡んでもらいた  
いと考えている。

## 地域包括ケアシステムの 進捗状況は

**質問** 「玉村町生活支援・介護  
予防サービス提供主体等  
協議体」の取り組みはどうか。

**答弁** 町長 協議体では「居場  
所づくり」「移動支援」「食  
事支援」「担い手発掘」に取り組  
んでいる。今年1月に担い手発  
掘の研修会を行った。今後は、  
住民の皆さんが主体的に活動で  
きる場や活動に必要な情報を提  
供して、生活支援体制をさらに  
進めていく。

# 早急な買い物弱者 対策を求む



三友美恵子



町長

## 利用者が選択できる 環境を整備

**質問** 町の買い物弱者対策は。  
**答弁** 町長 買い物支援につ  
いては、利用者が自分に  
合った買い物方法を選択できる  
ような環境を整備していくこと  
が重要と考え、協議体でも検討  
している。

町では75歳以上の町民を対象  
にタクシー利用補助券を交付し  
ており、平成29年度は250名  
に交付した。30年度については、  
年間で1人48枚を交付する。

また、状況に応じた支援をし  
ていかなくはならないと考え  
ており、町内に移動販売車を走  
らせることも検討している。



タクシー利用補助は30年度も実施